

4 : 2023年度活動報告



(1)2023年度活動の振り返り（1/2）

■ 2023年度振り返りからの今年度の施策を、ご説明申し上げます。

校長 谷口史雄

- **夏合宿**に関して申し上げます。昨年は猛暑で菅平でも体調不良となった約10名の生徒の内、全カテゴリーにて熱中症の傾向は強く、既に子供はスクールを卒業した私も含めたOBコーチを主体に対応しました。具体的には、スクール内で医師の資格をお持ちの保護者の方に都度ご相談（電話も含む）してご意見を頂きながら、状況により上田市の医療機関へ診察の為、車に乗せて移動する場合もありました。
- 低学年では状況から救急車を呼んだ事例（結果的には搬送する必要はないと言われた）もあり、上田市の医療機関へ行ったが対応が夜中に及んだ事もありました。
→今年度施策として、特に低学年の場合、普段のご体調が分からず、症状の把握は医師でない限りなかなか判断出来ず、生命に関わる事でもあります為、役員間でも話し合い、**今年度から低学年に関しては保護者の方に合宿の期間中はご同伴頂く事を条件とさせて頂きたいと考えています。**夏合宿への参加は中学年からとしているスクールが多い中、低学年も連れて行くスクールでは、保護者同伴としているところもあります。
- 更に上記の医師の資格をお持ちの保護者の方々も、合宿へのご参加状況、また電話でのご相談だけではなかなかご対応頂くのが難しい面があり、**安全対策上の重要な点で、今年度から合宿期間中の看護師の派遣を導入する考えでいます。**安全対策上の事から、ご理解を賜りたく、どうぞ宜しくお願いいたします。

(1)2023年度活動の振り返り (2/2)

- 他には都内、近県の**他ラグビースクールからの移籍**（希望も含む）が少なくなかった事が挙げられます。この件は運営会議、コーチ会議でも充分議論して参りましたが、今後に関しても既に取り決めした本人の体験による出席4回以上のルールの運用（保護者がコーチ希望の場合も同様）で、校長の私が必ず面談して最終的には人物本位として、状況から判断、決めさせて頂く流れを継続します。
- また**カテゴリー制**で運営していますが、学年単位の練習、試合の活動も増えました。杉並は以前からカテゴリー制で運営され、その継続は重要と考えています。具体的には、先輩、後輩の関係は重要な人間関係であり、先輩が引っ張って行く、後輩の世話をする、後輩は先輩のプレーから学ぶなどは正に生徒達が卒業してからも続く大事な人間関係であり、ラグビーではその関係は極めて重要と感じています。
基本的には普段の活動の中でも、一緒に出来る部分は御願いしたいと思います。
そして、今後も、カテゴリー内、また更にカテゴリーを超えたコミュニケーションもより築いて参りたいと思います。